

HDS-PHU2シリーズ マニュアル

はじめにお読みください

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。

パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

	警告 絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意 この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味 の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

	警告・注意を促す内容を示します。(例:)
	してはいけない事項(禁止事項)を示します。(例:)
	しなければならない行為を示します。(例:)

警告

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告や注意指示に従ってください。

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。
海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。
差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

電源ケーブルを傷つけない、加工、加熱、修復しないでください。
設置時に、電源ケーブルを管やラック(棚)などの間にはさまんだりしないでください。
・重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
・熱器具を近づけたり、加熱しないでください。
・電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
・ケーブルに折り曲げないでください。
・電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。
万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社サポートセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。
さわってけがをする恐れがあります。

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

濡れた手で本製品に触れないでください。
電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

煙が出たり変な臭いや音が出たら、すぐにパソコン及び周辺機器の電源スイッチをOFFにし、コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

風呂場など、水分や湿度が多い場所では、本製品を使用しないでください。
火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

USBケーブル、IEEE1394ケーブルは、本製品付属のものまたは弊社製のものをご使用ください。
本製品付属または弊社製以外のUSBケーブル、IEEE1394ケーブルをご使用になると、電圧の端子や極性が異なることがあるため、発煙、発火の恐れがあります。本製品の故障の原因ともなります。

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しています。筐体表面が熱くなりますが異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。
・本製品の上下周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
・本製品に布などをかぶせてください。
・本製品を積み重ねて使用しないでください。

本製品の使用中および使用直後は筐体表面が熱くなっています。本製品に触れるときは電源スイッチをOFFした後、30分以上たってから作業をすることをおすすめします。

注意

ハードディスク、MO、フロッピーディスクドライブなどのデータ格納機器へのアクセス中は、パソコンや機器の電源をOFFにしたり、リセットしたりしないでください。
データを消失、破損する恐れがあります。バックアップ作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
本製品は精密機器ですので、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。本製品の故障の原因となります。

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。
・強い磁界、静電気が発生するところ
・湿度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
・ほこりの多いところ →故障の原因となります。
・振動が発生するところ →けが、故障、破損の原因となります。
・平らでないところ →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・直射日光が当たるところ →故障や変形の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のあるところ →故障や変形の原因となります。
・漏電、漏水の危険があるところ →故障や感電の原因となります。

パソコンおよび周辺機器の取り扱い、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内(ハードディスク等)のデータのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。
誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。
バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。
故障の原因となります。

本製品の上に物を置かないでください。
傷がついたり、故障の原因となります。

通風口をふさいだり、他の機器と密着させないでください。
故障の原因となります。

パワー・アクセスランプがオレンジ色に点滅している間は、電源スイッチをOFFにしたり、システムをリセットしたりしないでください。

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア(フロッピーディスク、MOディスク等)にバックアップしてください。
とくに、修復、再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前、更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。次のような場合に、データが消失、破損する恐れがあります。
・誤った使い方をしたとき ・静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき ・故障、修理などのとき
・パソコンの電源スイッチをOFFにした直後に、すぐに電源スイッチをONにしたとき
・天災による被害を受けたとき
上記の場合に限らずバックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電源スイッチのON/OFFは、少なくとも数秒の間隔をあけて行ってください。
本製品の故障、データの消失、破損の恐れがあります。

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。
本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

本製品内部からの放熱により製品が少し熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、製品使用中は布などかぶせないようにしてください。

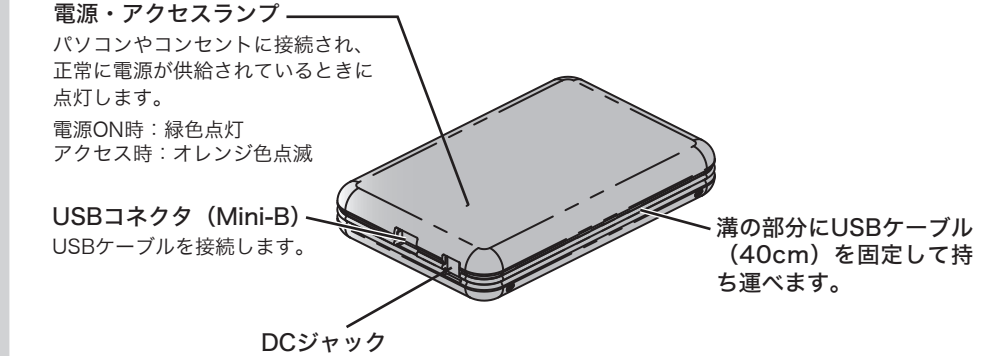
本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。
条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

本製品について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
万一、障害が発生したときは次の対策を行ってください。
・本製品とテレビやラジオの距離を離してみる。
・本製品とテレビやラジオの向きを変えてみる。

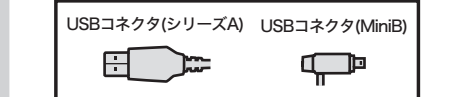
パッケージ内容

万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。なお、製品形状はイラストと異なる場合があります。

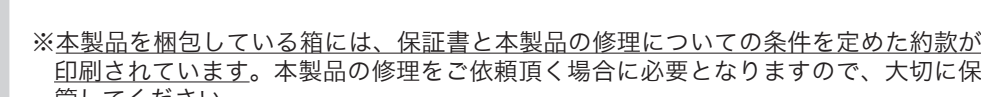
□ハードディスク(本製品)1台



□USB収納ケーブル.....1本
ハードディスク本体に固定して持ち運ぶことができます。



□USB給電ケーブル.....1本
本製品に電源を給電するケーブルです。USBケーブルで本製品をパソコンを接続しても正常に動作しないときにお使いください。【「USB給電ケーブルについて」参照】



✓はじめにお読みください(本紙)1枚

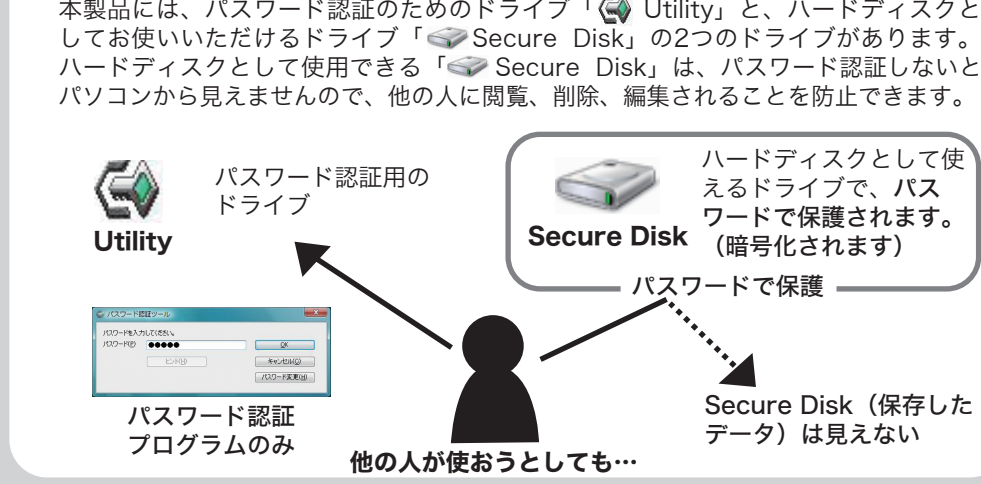
※本製品を梱包している箱には、保証書と本製品の修理についての条件を定めた約款が印刷されています。本製品の修理をご依頼頂く場合に必要となりますので、大切に保管してください。

※別紙で追加情報が添付されている場合は、必ず参照してください。

●本製品に保存したデータを自動的に暗号化
本製品は、暗号化機能を搭載したハードディスクです。本製品に保存するデータは、特別な操作をすることなく自動的に暗号化されて保存されます。



●本製品に保存したデータは、パスワードで保護
本製品には、パスワード認証のためのドライブ「Utility」と、ハードディスクとしてお使いいただけるドライブ「Secure Disk」の2つのドライブがあります。ハードディスクとして使用できる「Secure Disk」は、パスワード認証しないとパソコンから見えないので、他の人に見えませんが、削除、編集されることを防止できます。



画面で見るマニュアルについて

画面で見るマニュアルには、使用上の注意やフォーマット手順など、本紙に記載されていないことが記載されています。本紙とあわせて必ずお読みください。画面で見るマニュアルは、以下の手順で表示できます。

■Windows

- 1 本製品をパソコンに接続します。**
※パスワード認証画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。
※Windows Vistaの場合、自動再生の画面が表示されたら、画面右上の[X]をクリックして画面を閉じてください。
- 2 コンピュータ(マイコンピュータ)にある「Utility」()を右クリックし、[開く]を選択します。**
- 3 「menu.exe」()をダブルクリックします。**
- 4 表示したいマニュアルを選択し、[開始]をクリックします。**
以上で、画面で見るマニュアルが表示されます。

※画面で見るマニュアル(PDFファイル)を読むには、Adobe ReaderまたはAcrobat Readerがインストールされている必要があります。Adobe ReaderまたはAcrobat Readerは、④の画面からインストールできます。
※Acrobat ReaderまたはAdobe Readerの使いかたは、ヘルプを参照してください。
※画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

■Macintosh

画面で見るマニュアルは、本製品を接続したときにデスクトップに追加される「Utility」に収録されています。「Utility」内にある以下のファイルをダブルクリックしてください。

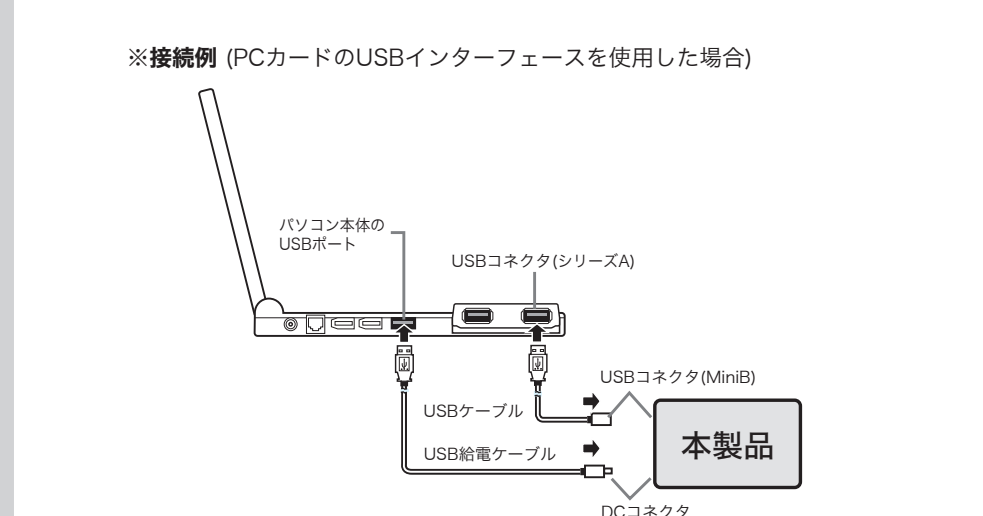
- ユーザーズマニュアル(使用時の注意や使用など)
「Manual」フォルダにある「manual.pdf」
- フォーマット/メンテナンスガイド(フォーマットやバックアップなど)
「Manual」フォルダにある「formatguide.pdf」
- Q&A
「Q&A」フォルダにある「index.html」

USB給電ケーブルについて

次の場合は、付属のUSB給電ケーブルを本製品に接続してください。

- 本製品をバスパワーハブ(ACアダプタなどの電源がないUSBハブ)に接続する場合
- パソコン本体のUSBコネクタの仕様により、本製品の動作に十分な電源供給が行われない場合
- PCカードのUSB2.0インターフェースと併用される場合

注意 ・パソコンのUSBポートの仕様によっては、USB給電ケーブルを接続しても本製品が動作しないことがあります。その場合は、別売のACアダプタ(弊社製AC-DC5)をご使用ください。
・USB給電ケーブルは、必ずパソコン本体のUSBポートに接続してください。



Windowsでの使いかた

Windowsでご使用になるときは、以下の手順でお使いください。

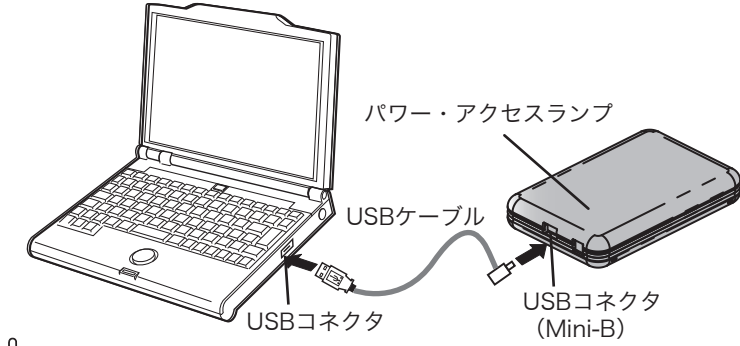
ステップ1 パスワードの初期設定(変更)を行う

出荷時パスワードは公開されていますので、本製品をご使用いただく前に必ずパスワードを変更してください。

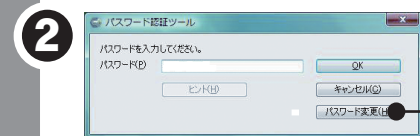
※Windows XP/2000 の場合は、管理者用アカウントでログインしてください。
ユーザーアカウントでログインした場合、パスワードを設定できません。

出荷時のパスワードは、「12345」となっています。

1 本製品をパソコンに接続します。



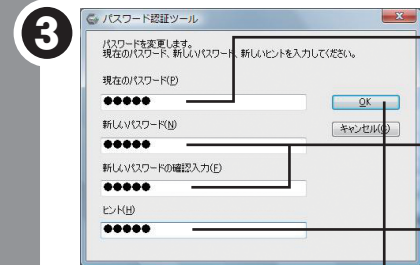
メモ
右の画面が表示されたときは、[Password.exe の実行] をクリックします。



[パスワード変更] をクリックします。

メモ
上の画面が表示されない場合は？

コンピュータ(マイコンピュータ)の「Utility」内にある「Password.exe」をダブルクリックしてください。コンピュータ(マイコンピュータ)内に「Utility」が表示されていない場合は、P1「USB 給電ケーブルについて」を参照して、本製品に USB 給電ケーブルを接続してください。



- ①現在のパスワードを入力します。
※初めてご利用になる場合は、「12345」(出荷時設定)を入力します。
- ②新しいパスワード(半角英数字 4～10 文字)を入力します(2 箇所)。
- ③ヒント(5～75 文字)を入力します。
- ④[OK] をクリックします。

※ヒント・パスワード入力欄は、コピーアンドペーストしないでください。

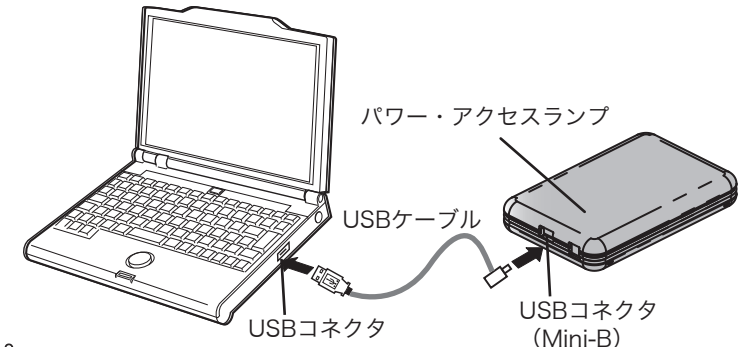
4 「パスワードを変更しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

5 P3 「取り外しかた」の手順で本製品をパソコンから取り外します。以上でパスワードの初期設定は完了です。

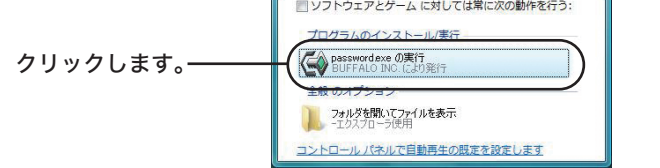
ステップ2 パスワード認証して使用する

パスワード認証を行い、本製品にデータを読み書きできる状態にします。

1 本製品をパソコンに接続します。



メモ
右の画面が表示されたときは、[Password.exe の実行] をクリックします。



- ①パスワードを入力します。
※ステップ1 で変更したパスワードを入力します。
- ②[OK] をクリックします。

※上の画面が表示されないときは、左の「ステップ1 パスワードの初期設定を行う」の②のメモを参照してください。

※パスワードを3回間違えると「ヒント」ボタンからステップ1で入力したヒントを確認できます(Windows XP/2000では、管理者用アカウントでログインしている場合のみ)。



[OK] をクリックします。



注意
Windows 2000の場合「安全な取り外しの警告」が表示されますが、本製品は正常に動作しています。「閉じる」をクリックして画面を閉じ、そのままお使いください。

4 コンピュータ(マイコンピュータ)に「Secure Disk」が追加されていることを確認します。



[Secure Disk] が追加されたことを確認します。

以上で完了です。[Secure Disk]は、通常のハードディスクと同じようにデータの読み書きを行えます。



メモ 4GB 以上の大容量ファイルを保存する方へ

画面で見るマニュアルを参照して、Secure Disk を NTFS 形式でフォーマットしてください。出荷時状態は、FAT32 形式でフォーマットされているため、4GB 以上のファイルを保存できません(FAT32 形式の仕様です)。NTFS 形式でフォーマットすると、4GB 以上のファイルも保存できるようになります。

※本製品を Macintosh でも使用される場合は、フォーマットせずにそのままお使いください(4GB 以上のファイルは保存できません)。NTFS 形式は、Macintosh で使用できません。

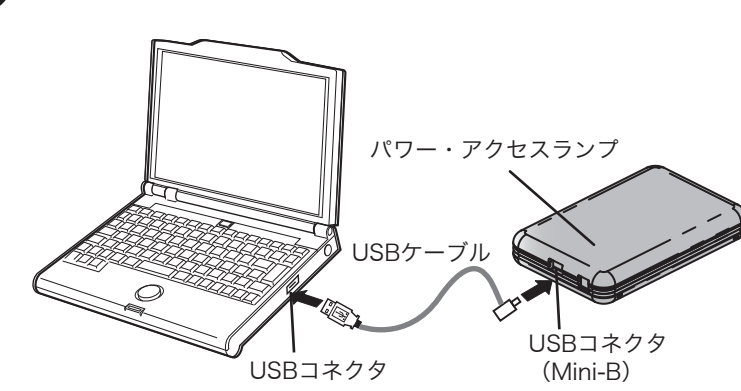
Macintoshでの使いかた

ステップ1 パスワード認証ソフトウェアをインストールする

パスワード認証ソフトウェア「Secure Disk Tool」をインストールします。

1 パソコンを ON にして、管理者用アカウントでログインします。

2 本製品をパソコンに接続します。



3 ディスクトップの [Utility] を開き、[Mac X] フォルダ内の [Secure Disk Tool Installer VJ1_xx.pkg] をダブルクリックします。 ※[Secure Disk Tool Installer VJ1_xx.pkg] の "xx" はバージョンを表す数字です。

以降は画面の指示に従ってインストールします。

ステップ2 パスワードの初期設定(変更)を行う

出荷時パスワードは公開されていますので、本製品をご使用いただく前に必ずパスワードを変更してください。

出荷時のパスワードは、「12345」となっています。

1 デスクトップの「Secure Disk Tool」をダブルクリックします。



[オプション] をクリックします。



- ①現在のパスワードを入力します。
※初めてご利用になる場合は、「12345」(出荷時設定)を入力します。
- ②新しいパスワード(半角英数字 4～10 文字)を入力します(2 箇所)。
- ③ヒント(5～75 文字)を入力します。
- ④[変更] をクリックします。

※ヒント・パスワード入力欄は、コピーアンドペーストしないでください。

4 「パスワードを変更しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

5 右に記載されている「取り外しかた」の手順で本製品をパソコンから取り外します。

以上でパスワードの変更は完了です。

ステップ3 パスワード認証して使用する

パスワード認証を行い、本製品にデータを読み書きできる状態にします。

1 本製品をパソコンに接続します。

2 デスクトップの「Secure Disk Tool」をダブルクリックします。



- ①パスワードを入力します。
- ②[認証] をクリックします。
※パスワードを3回間違えると(ヒント)ボタンからステップ2で入力したヒントを確認できます。

4 「パスワード認証に成功しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

※「セットしたディスクにMac OS Xで読み込めないボリュームが含まれています」という内容の警告メッセージ(日本語と英語、または日本語のみ)が表示されることがあります。日本語のメッセージでは「続ける」、英語のメッセージでは「OK」をクリックしてください。

5 デスクトップに Secure Disk () が表示されていることを確認します。 ※表示されるまでに数十秒かかることがあります。

以上で完了です。[Secure Disk]は、通常のハードディスクと同じようにデータの読み書きを行えます。



メモ 4GB 以上の大容量ファイルを保存する方へ

画面で見るマニュアルを参照して、Secure Disk を Mac OS 拡張形式でフォーマットしてください。出荷時状態は、FAT32 形式でフォーマットされているため、4GB 以上のファイルを保存できません(FAT32 形式の仕様です)。Mac OS 拡張形式でフォーマットすると、4GB 以上のファイルも保存できるようになります。

※本製品を Windows でも使用される場合は、フォーマットせずにそのままお使いください(4GB 以上のファイルは保存できません)。Mac OS 拡張形式は、Windows で使用できません。

取り外しかた

パソコンの電源がOFFのとき

そのままパソコンから本製品を取り外してください。

パソコンの電源がONのとき

使用しているOSによって、取り外しかたが異なります。次の手順で取り外してください。
注意 手順を守らないで取り外すと、本製品や記録されたデータが破損する恐れがあります。

Windows

1 タスクトレイのアイコン ()、()、() のいずれかをクリックします。

2 表示されたメニューから次の項目をクリックします。

Windows Vista.....[USB 大容量記憶装置 - ドライブ(X:, Y:) を安全に取り外します]
Windows XP.....[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:, Y:) を安全に取り外します]
Windows 2000.....[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:, Y:) を停止します]

※下線部XやYは、本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。ユニットドライブ名は製品によって異なります。ドライブ名は、1つしか表示されないこともあります。

3 安全に取り外すことができる旨のメッセージが表示されたら、Windows Vista/2000では[OK]を、Windows XPでは[]を、クリックします。

4 本製品をパソコンから取り外します。

以上で完了です。

Macintosh

1 デスクトップにある Utility () と Secure Disk () をゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

2 本製品をパソコンから取り外します。

以上で完了です。

DiskFormatterについて(Windowsのみ)

本製品には、Windows Vista/XP/2000用のフォーマットソフト「DiskFormatter」が付属しています。DiskFormatterを使えば、本製品を簡単にFAT32形式でフォーマットすることができます。本製品をMacintoshと併用する際にお使いください。使いかたは、画面で見るマニュアルを参照してください。DiskFormatterは、以下の手順でインストールできます。

- ① 本製品をパソコンに接続します。
※Windows Vistaの場合、自動再生の画面が表示されたら、画面右上の[X]をクリックして画面を閉じてください。
- ② コンピュータ(マイコンピュータ)にある [Utility] () を右クリックし、「開く」を選択します。
- ③ 「menu.exe」() をダブルクリックします。
- ④ [DiskFormatterのインストール] を選択し、「開始」をクリックします。

以降は、画面に従ってインストールしてください。

- ご使用後は、本製品をパソコンから取り外してください。パソコンから取り外さないと、本製品はロックされません。
- 本製品が認識されない場合は、USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、表面「USB 給電ケーブルについて」を参照して、USB 給電ケーブルを接続してください。USB 給電ケーブルを接続しても認識されない場合は、本製品を別の USB ポートに接続してください。

ハードディスクの破壊・譲渡・交換・修理時の注意

「削除」や「フォーマット」したハードディスク上のデータは、完全には消去されていません。お客様が、廃棄・譲渡・交換・修理等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。万一、お客様の個人データが漏洩しトラブルが発生したとしても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。以下のような市販のソフトウェアを用いてデータを完全に消去するか、専門業者に完全消去作業を依頼することをおすすめします。

Acronis DriveCleanser(Acronis社製 販売会社ラネクシー) 内蔵・外付ハードディスク用

詳しくは、http://buffalo.jp/support_s/hddata.html をご覧ください。

※ソフトウェアを削除することなくハードディスクやパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約違反になることがありますので、ご注意ください。